

12月の安全運転ごよみ

12日（金）…バッテリーの日 1日～1月15日（木）…年末年始無災害運動

20日（土）…道路交通法施行記念日 22日（月）…冬至

12月の安全運転目標

年末年始の安全確保に努めよう

今年も残すところ、あとわずかになりました。年末年始にかけては交通量の増加や工事等による渋滞が多発しており、渋滞に巻込まれた際には、運行の遅れから焦りも生じます。12月は1年で最も交通事故が多い月もあるため、心にゆとりを持ち、普段以上の安全運転を心掛けましょう。



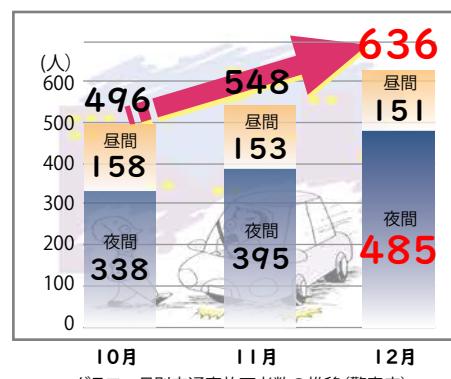
年末にかけて、交通事故死者数は増加

秋から年末にかけては、交通事故死者数が増加する傾向にあります。特に夜間、歩行中の高齢者の事故が目立ちます。

また、事故にあった歩行中の高齢者には、「横断違反」や「信号無視」などの法令違反がみられます。

運転者の皆さんには、「ハイビーム（走行用前照灯）」と「ロービーム（すれ違い用前照灯）」を使い分けて、早期の歩行者発見に努めましょう。

併せて、交差点やその付近では、道路を横断しようとする歩行者の見落としにも注意してください。



○ 事 | 故 | 事 | 例

赤信号を無視して、横断歩道を横断中の歩行者と衝突

2024年12月10日、神奈川県内の市道で、赤信号を無視した乗用車が、横断歩道を横断中の歩行者と衝突し、死亡させる事故が発生しました。

「急いでいる」「まだ間に合う」などと考え、わずかな時間短縮のために信号を無視した結果、尊い命が奪われました。

焦る気持ちを抑え、交差点では安全確認を徹底し、黄信号で停止することを心掛けましょう。





心にゆとりを持った 安全運行 を

繁忙期の道路事情を理解しよう

年末年始の渋滞等による遅延は運転者の焦りを生み、「速度超過」や「信号無視」などの危険な運転に結びつくおそれがあります。

運転中に焦らないためには、休憩時間も含め、時間にゆとりのあるスケジュールを設定しましょう。

また、出発前にスマホやナビ等で、渋滞情報や到着予測時間を確認し、あらかじめ複数の安全なルートを確認しておくと、現場での焦りの軽減につながります。

このほか、繁忙期には自分以外の運転者が焦っているかもしれないと考え、交差点などでは安全確認を徹底し、慎重に進入するようにしましょう。



「信号無視」等、周囲の車の危険運転も予測しよう

事故を起こさない・事故に遭わない運転を

渋滞などに巻込まれると、「間に合わせたい」という気持ちが生じ、無謀な運転につながる危険性があります。

心にゆとりを持てない状況でも、常に「安全最優先」を意識し、交通集中による遅延は避けられないと割り切りましょう。そして、遅延が見込まれる際には、早めに安全な場所に停車して、訪問先等に連絡を入れましょう。

また、運転中にイライラしたら、一旦深呼吸で冷静を取り戻してください。運転中の感情の起伏は、事故に直結します。



事前に断りを入れておくことで焦りが軽減されます

管理者として
知っておきたい知識

事故発生状況を振り返ろう

管理者として、今年の事故発生状況を詳細に分析し、原因を特定することが重要です。その分析に基づき、来年実施すべき具体的な事故防止対策を考案してください。

特に、多発した事故形態に合わせた集中的な安全教育を計画し、無事故・無違反に取り組みましょう。

また、運転者に対しては、新年を迎えるにあたり、安全運転目標等を設定させて、宣言させることで安全意識の高揚を図りましょう。



事故発生状況を把握し、対策を